
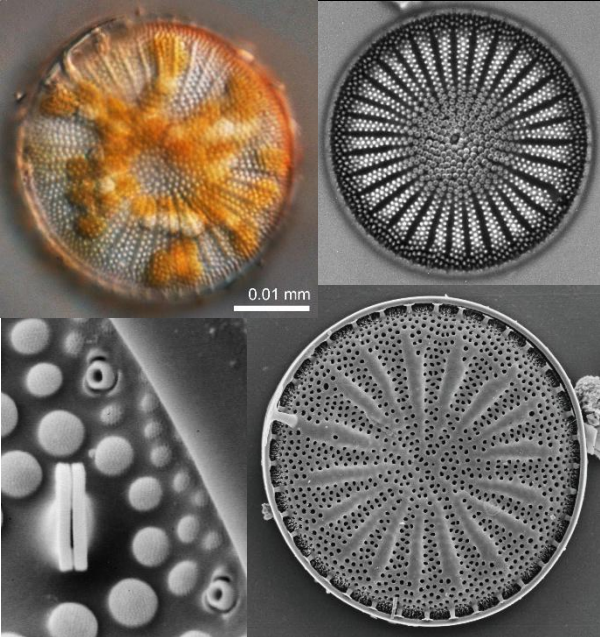


ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

研究機関名	滋賀県立琵琶湖博物館				
プログラム名	身近な珪藻を観察してみようー夏の珪藻合宿 in 琵琶湖博物館				
先生(代表者)	大塚 泰介(おおつか たいすけ)・研究部・総括学芸員				
自己紹介	子供のころから魚釣りが大好きで、淡水魚の研究をしたくて大学は水産学科へ行きました。しかし何をどう間違えたかアユなどの魚が食べる珪藻の研究者になり、フィールドも河川から干潟、湿原、水田など泥っぽい場所に移ってきました。今ではマッド・サイエンティスト(泥の科学者)を自称しています。				
開催日・募集対象	2026年7月25日(土)～ 2026年7月27日(月) 2泊3日	受講 対象者	高校生	募集 人数	8名
集合場所・時間	滋賀県立琵琶湖博物館 セミナー室		(集合時間)	12:00～12:50	
開催会場	滋賀県立琵琶湖博物館 住所: 〒525-0001 滋賀県草津市下物町 1091 番地 アクセスマップ URL: https://www.biwahaku.jp/guide/access.html				
内 容					
<p>皆さんは珪藻を知っていますか？実は川にも、湖沼にも、海にも、湿原や田んぼにも、水がある場所ならばどこにでもいて、環境によって生育する種類が異なります。珪藻の細胞を包むオパール製の殻は実に美しく、種類によって形は様々です。しかし大部分が0.1mm以下の小さなので、その美しい殻を観察するにはよい顕微鏡が不可欠です。</p> <p>この夏、琵琶湖博物館のよい顕微鏡を使って、自分で採集した身近な珪藻を調べてみませんか？2泊3日の合宿コースを修了すれば、君も珪藻博士だ！</p> <p>スズケイソウの光学顕微鏡写真(上)と走査電子顕微鏡写真(下)</p>					
持 ち 物		特 記 事 項			
採集した珪藻のサンプル 筆記用具 動きやすい服装 ノートパソコン(なければ貸します) 白衣(なければ貸します) 2日分の着替え 洗面用具		<ul style="list-style-type: none"> ・2泊3日のプログラムです。参加にあたっては必ず保護者の承諾を得てください。また、当方で食事をご用意しますので、アレルギーがある方は予めお申し出ください。 ・珪藻のサンプルを採集して持ってきていただきます。この際、危険なところには立ち入らないこと、田んぼなどの私有地に立ち入るときには所有者の許可を得ることを忘れないでください。 ・実習では湖岸からプランクトンを採集します。また、劇物を含む薬品をいくつか用います。危険がないよう、指導者の指示に従うとともに、自らも十分に注意してください。 			

スケジュール

1 日目 7 月 25 日(土)

12:00-12:50 受付(集合場所:滋賀県立琵琶湖博物館セミナー室)

13:00 開会、科研費の説明、講師紹介、自己紹介

13:20 琵琶湖でプランクトン採集

13:50 琵琶湖のプランクトンの観察

14:50 休憩

15:00 講義 1 珪藻はどんな生き物か(真山茂樹:元日本珪藻学会会長)

15:40 講義 2 皆でとりくむ珪藻研究(大塚泰介:日本珪藻学会会長)

16:10 講義 3 珪藻研究をどのように仕事にしたか(石井健一郎:(株)SeedBank 社長)

16:40 終了

* 参加者は朝食の配布を受けて琵琶湖博物館別館の宿泊施設に荷物を置き、夕食の後解散
参加者および講師 2 名は琵琶湖博物館別館の宿泊施設に宿泊

2 日目 7 月 26 日(日)

9:00 珪藻試料のクリーニング実習(終わった人から適宜休憩)

10:30 珪藻の永久プレパラート作成実習

12:00 休憩

13:00 油浸光路系光学顕微鏡の使い方実習

14:00 珪藻の光学顕微鏡観察、写真撮影

(この間、2 グループに分かれて走査電子顕微鏡観察の見学。講師:根来健)

17:00 終了

* 参加者は朝食の配布を受けて琵琶湖博物館別館の宿泊施設に荷物を置き、夕食の後解散
参加者および講師 2 名は琵琶湖博物館別館の宿泊施設に宿泊

3 日目 7 月 27 日(月)

9:00 珪藻写真の加工と整理実習(終わった人から適宜休憩)

10:30 珪藻の同定に挑戦!

12:00 休憩

13:00 珪藻の同定に挑戦!(続き)

14:00 珪藻の同定結果のとりまとめ

14:30 休憩

14:40 同定した珪藻の報告(1 人 10 分)

16:00 講評

16:30 修了式(未来博士号授与)

17:00 終了・解散